協働事業評価・報告書

事業名	非対面でも実施可能な児童養護施設への就労支援普及事業
団体名	特定非営利活動法人フェアスタートサポート
県協働部署名	産業人材課、子ども家庭課、中小企業支援課
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 個別事業ごとの進捗状況

事業2	施設内で実施可能なキャリア教育教材の開発
(1) 目標	動画7本作成、県内全施設への提供
(2) 実績 ※事業の実施によって生じた結果を、数値等により箇条書きで記入してください。 ※この欄に入りきらない場合は、別紙も可。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度制作の総合職業技術校の職業紹介動画に関連して、団体から県内施設に総合職業技術校の体験入校を周知した。 団体が新たに職種の異なる7本の職業紹介動画を制作した。 DVD作成及び県内施設への配布については、団体において令和6年4月中に完了予定としている旨、報告を受けた。
(3) 実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	協働事業において制作された職業紹介動画は、就業経験のない施設児童に職業理解を促す動画として、団体のネットワークを活用した現地インタビューにより、仕事の概要、やりがい、職業選択理由、仕事との向き合い方、その職業を目指す人へのメッセージなどで構成されており、職業理解、職業興味促進及び早期離職（ミスマッチ）防止等の効果があるものと評価する。制作動画の権利は団体が保有するが、県の職業能力開発事業におけるキャリア教育等においても、活用が見込めるものと考えられる。
(4) 進捗状況	<p>ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。 95%</p> <p>イ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。なお、予定よりも進捗状況が遅れている場合はその対応策を記入してください。 当初目標としていた動画7本の制作については完了しているが、県内施設への配布作業については、令和6年4月の完了見込みであるため。</p> <p>ウ) この事業の課題と対応策 特にない。</p>

(注) 個別事業が2つ以上ある場合は、上の表を複写して記入してください。

2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

3 負担金事業終了後の当該協働事業の見通し

4 協働事業の評価（はい・いいえ・どちらともいえない、のいずれかに○をしてください）

(1) 協働事業の成果

①	協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。	☒ はい・ ☐ いいえ・ ☐ どちらともいえない
②	事業の受益者の満足を得ることができましたか。	☒ はい・ ☐ いいえ・ ☐ どちらともいえない
③	②で「はい」を選んだ場合、受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたかを記入してください。 団体の評価に準ずる。	
④	協働事業の成果を記入してください。 施設職員集会に出席し、関係職員に総合職業技術校の紹介・説明を実施した。また、動画制作に関わることで施設児童の職業理解を促進するとともに、総合職業技術校の募集・広報を拡大することができた。	

(2) 協働事業の協議の状況

<企画段階>

①	事業計画や目標の立て方について、団体と県とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	☒ はい・ ☐ いいえ・ ☐ どちらともいえない
---	--	---

② 団体と県とは対等な立場で協議を行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ 締結した協定書は事業を効果的に実施する上で適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない

<実施段階>

① 意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、団体と県とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② 団体の状況や担当者の置かれている立場についての理解に努めましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ 必要な情報を団体と共有することができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
④ 協議についての課題を記入してください。	

(3) 協働事業の役割分担

① 団体との役割分担は適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② 協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ 役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。	

(4) 協働事業全体を通しての評価

① 全体として、団体と県とは対等な立場で協働ができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思えましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ 協働事業全体を通じて気づいた点を記入してください。	

(5) 社会的認知の獲得

① 取り組んでいる事業や成果について社会に知らせましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② ①で「はい」を選んだ場合、具体的に何をいどんな反応があったか（無かったのか）を記入してください。	
③ 今後に向けた課題を記入してください。	

(6) 新たなネットワークの獲得

① この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② ①で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力しましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ ②で「はい」を選んだ場合、どんな努力をしたのかを記入してください。	
④ ②で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
⑤ ④で「はい」を選んだ場合、具体的に関係（連携）ができた機関の名称を記入してください。	

(7) 行政の施策等への影響

① 協働事業の実施により、県職員のボランティア団体等に対する認識や行政の施策等に影響を与えることができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② ①で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。	

(8) 費用対効果

① 事業の効果から見て、要したコストは適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② ①で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。	